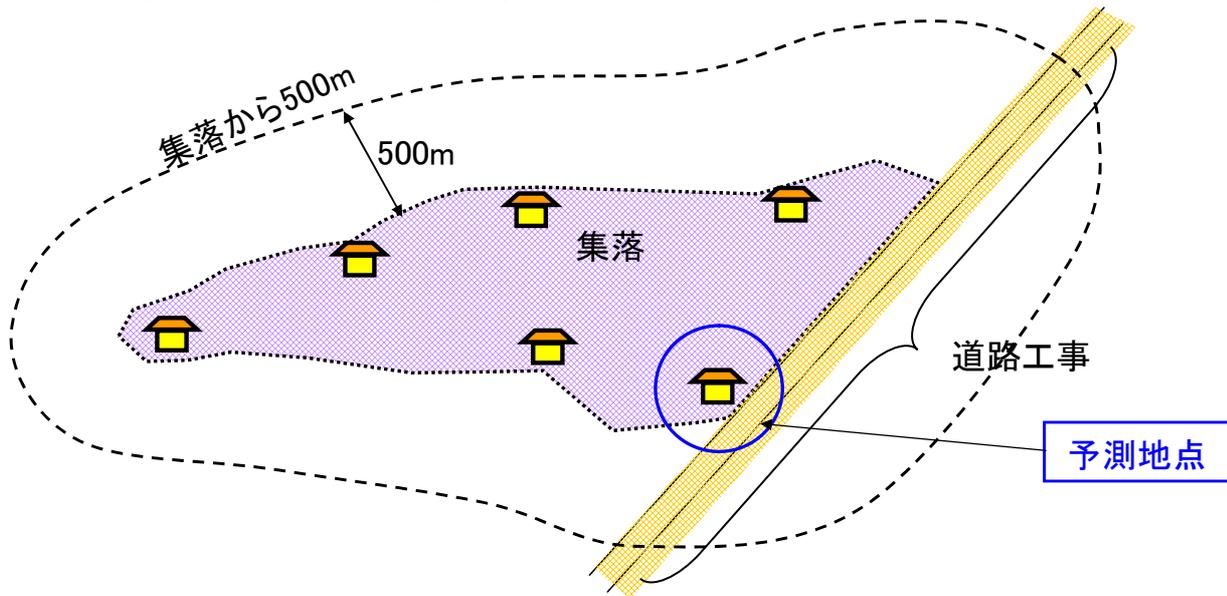


横瀬川ダム建設に伴う 環境影響について

1. 大気環境

予測地点・時期の考え方(建設機械の稼働)

■ 粉じん等・騒音・振動



■ 予測時期

建設機械の稼働が最大となる時期を対象とする

予測地点・時期の考え方(建設機械の稼働)

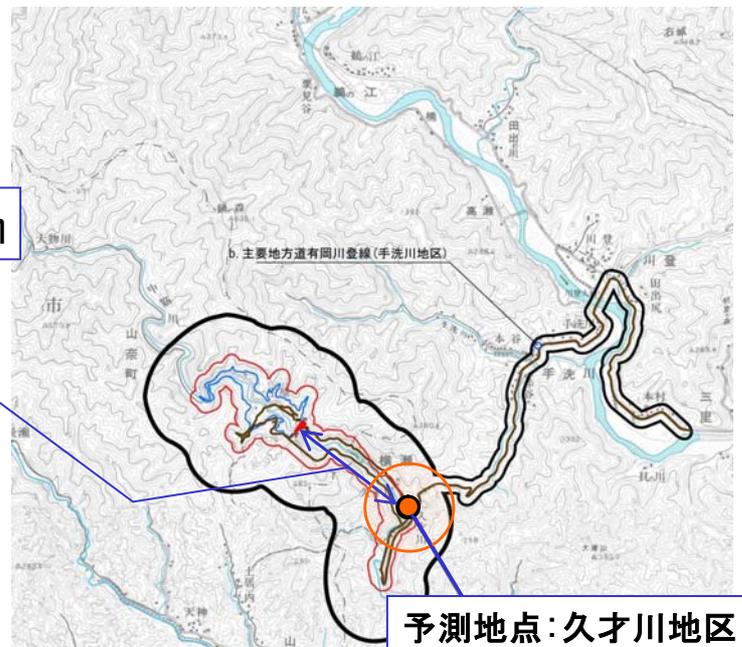
■ 粉じん等・騒音・振動

ダム堤体～久才川地区：>500m

予測地点から500m以内の工事は
全て完了している。



よって、建設機械の稼働に
ついては、予測しない



凡例

■ : ダム堤体

○ : 貯水予定区域

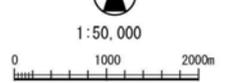
○ : 対象事業実施区域

○ : 調査地域

● : 土捨場

— : 工事用車両運行ルート

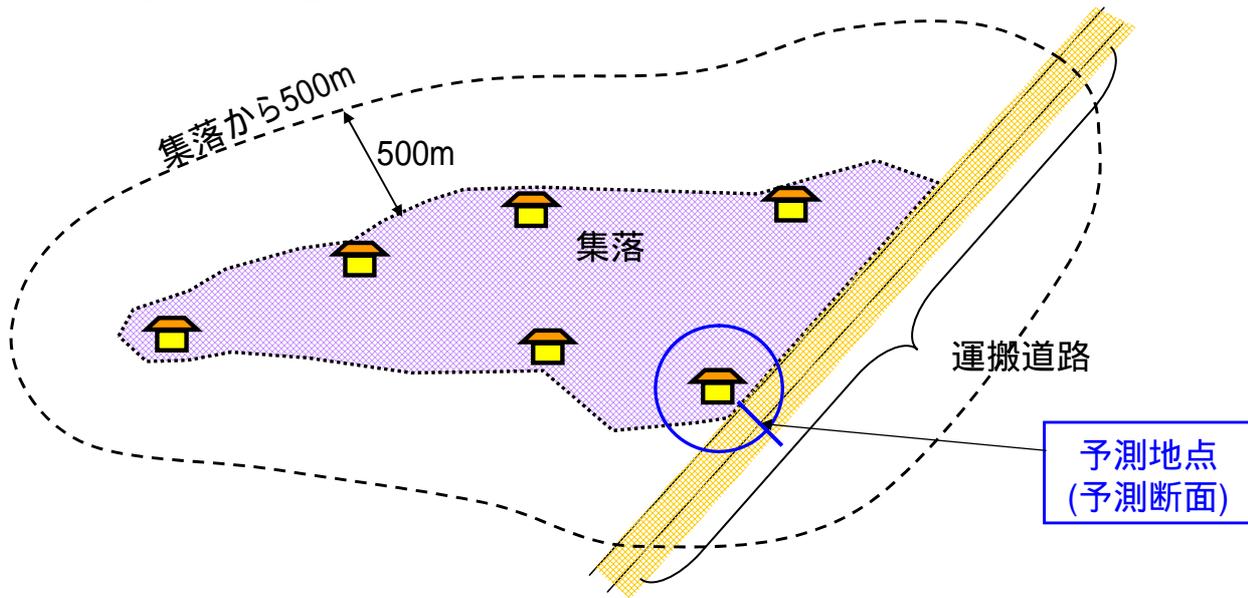
1:50,000



○ 予測地点を中心とした
半径500mの円

予測地点・時期の考え方(工事用車両の走行)

■ 騒音・振動



■ 予測時期

運搬台数が最大となる時期を対象とする

騷音

騒音について

環境影響評価で予測評価を行う項目

■ 工事用車両の運行による騒音

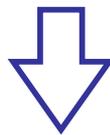
一般道路を走行する工事用車両による騒音の生活環境への影響を予測評価

評価に用いる基準の考え方

対象事業実施区域
およびその周辺

=

騒音について規制する地域(騒音規制法)
として指定されていない。



法令を参考に事業者として評価の基準を設定

工事用車両の運行による騒音
「自動車騒音の環境基準」
市道久才川線沿線 久才川地区
「専ら住居の用に供せられる地域」
60dB (二車線)

主要地方道有岡川登線沿線 手洗川地区
「幹線交通を担う道路に近接する空間」
70dB (二車線)

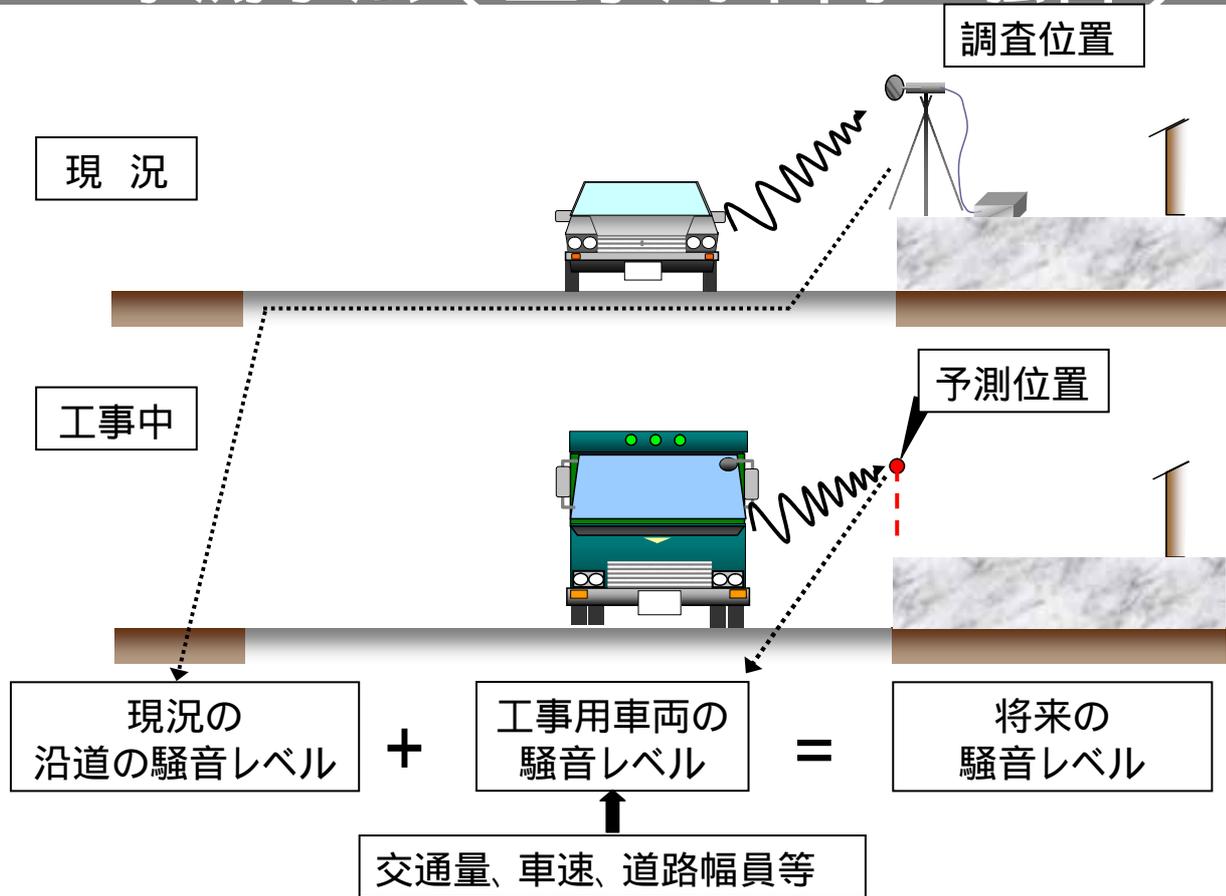
(騒音規制法)

一般的な騒音の目安

80dB	地下鉄の車内 ピアノ
70dB	掃除機 騒々しい街頭
60dB	普通の会話 チャイム
50dB	静かな事務所 エアコン室外機

出典:「騒音・振動基準集」
(平成8年4月 東京都環境保全局)

予測手法（工事用車両の騒音）



調査結果（道路沿道の騒音、平日・昼間(6:00～22:00)）

上段：路線名
下段：道路交通騒音

主要地方道 有岡川登線
(現況) 63 dB

主要地方道 有岡川登線
環境基準：70 dB
(要請限度：75 dB)

市道 久才川線
(現況) 51 dB

市道 久才川線
環境基準：60 dB
(要請限度：65 dB)



予測条件(工事用車両の騒音)

工事用車両台数: **410台**

・骨材搬入量が最大となる時期における台数(205台)の往復分として算出

手洗川地区:

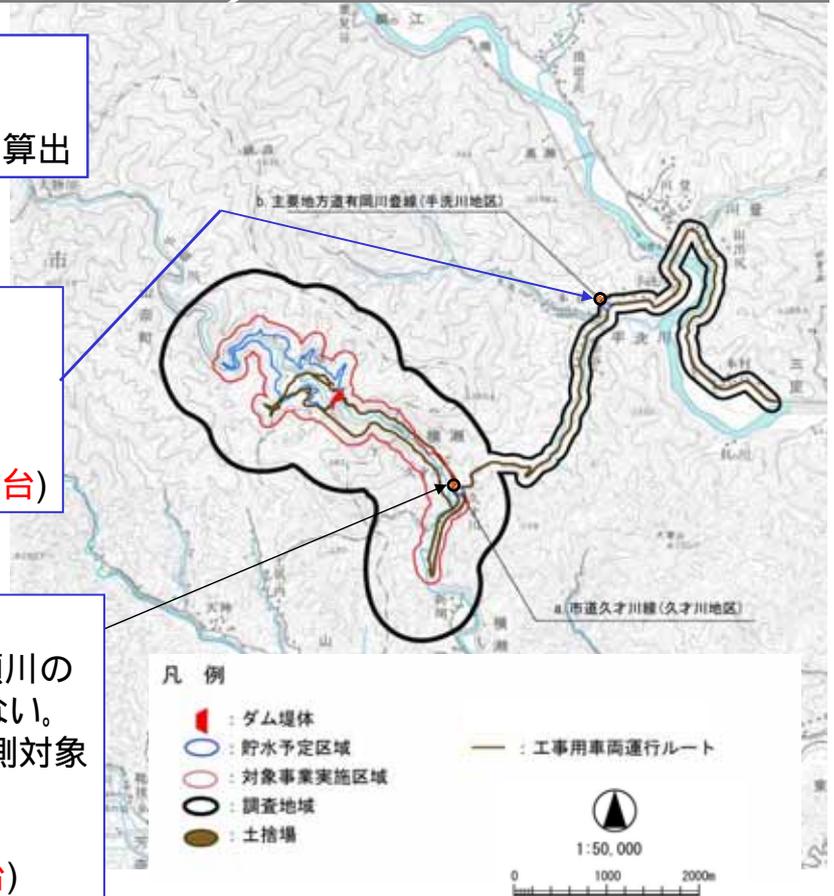
往路・復路とも、車両は予測地点(住宅)の近傍を通過する。

予測対象となる車両台数は、
現況交通量+工事用車両台数(**410台**)

久才川地区:

ダムに向かう際に工事用車両は横瀬川の対岸を走るため、予測対象とはならない。
ダムから出てくる車両台数のみを予測対象とする。

予測対象となる車両台数は、
現況交通量+工事用車両台数(**205台**)



予測結果(工事用車両の騒音)

主要地方道 有岡川登線
環境基準: 70 dB
(要請限度: 75 dB)

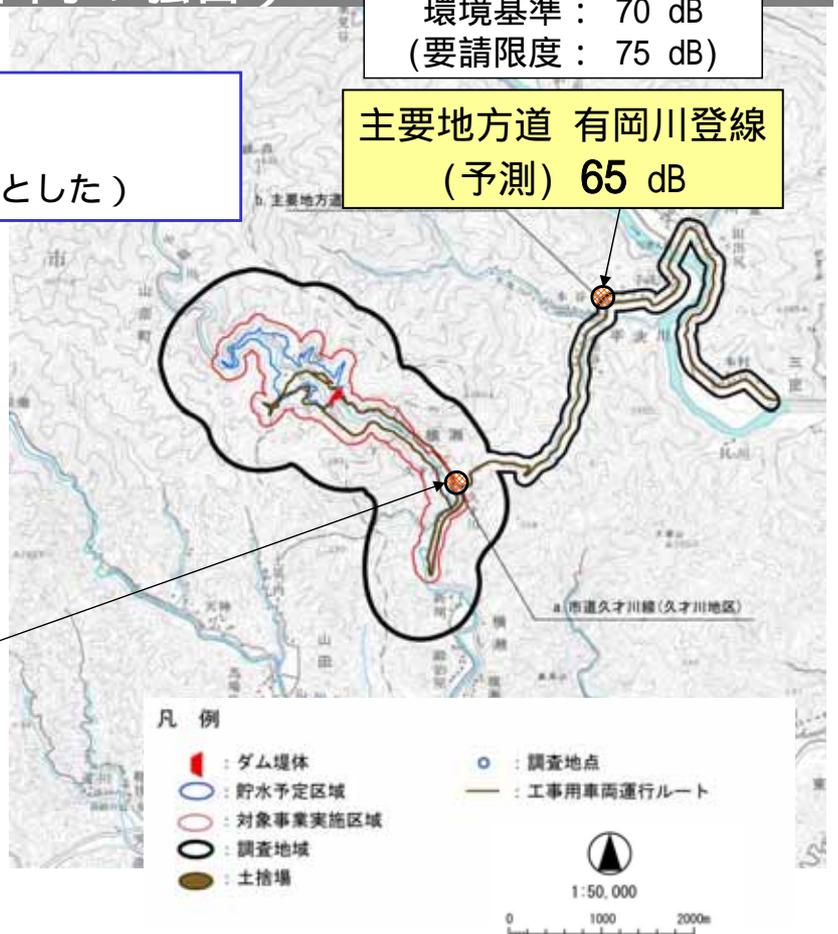
主要地方道 有岡川登線
(予測) **65 dB**

上段: 路線名

下段: 予測された等価騒音レベル
(車両走行速度は50km/hとした)

市道 久才川線
環境基準: 60 dB
(要請限度: 65 dB)

市道久才川線
(予測) **60 dB**



振 動

振動について

環境影響評価で予測評価を行う項目

■ 工事用車両の運行による振動

一般道路を走行する工事用車両による振動の生活環境への影響を予測評価

評価に用いる基準の考え方

対象事業実施区域
およびその周辺

=

振動を規制する地域(振動規制法)として
指定されていない。



法令を参考に事業者として評価の基準を設定

工事用車両の運行による振動
道路交通振動の要請限度
65dB (第1種区域)

(振動規制法)

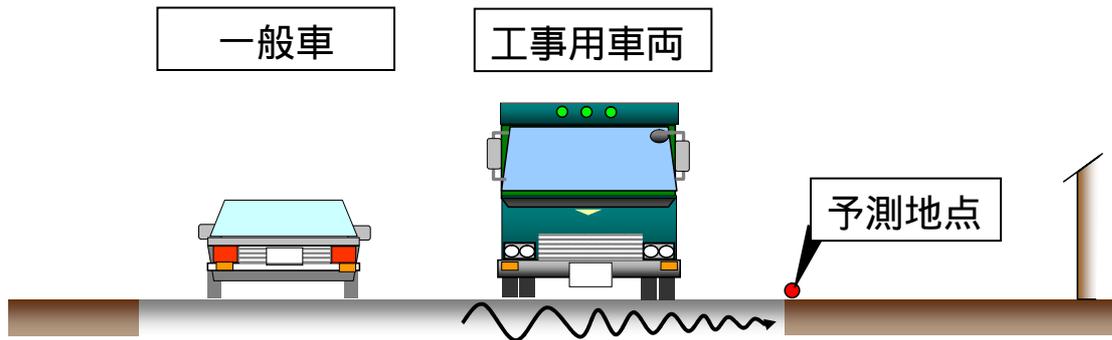
地域の土地の利用状況より「第1種区域：
良好な住居の環境を保全するため静穏の
保持を必要とする区域」として設定した。

一般的な振動の目安

65 ~ 75dB	大勢の人に感じる程度のもので、戸障子がわずかに動くのがわかる程度
55 ~ 65dB	静止している人や、特に地震に注意深い人だけに感じる程度
55dB 以下	人体に感じないで地震計に記録される程度

出典：「騒音・振動基準集」
(平成8年4月 東京都環境保全局)

予測手法（工事用車両の振動）



調査結果

(道路の沿道、平日、昼間(8:00 ~ 19:00))

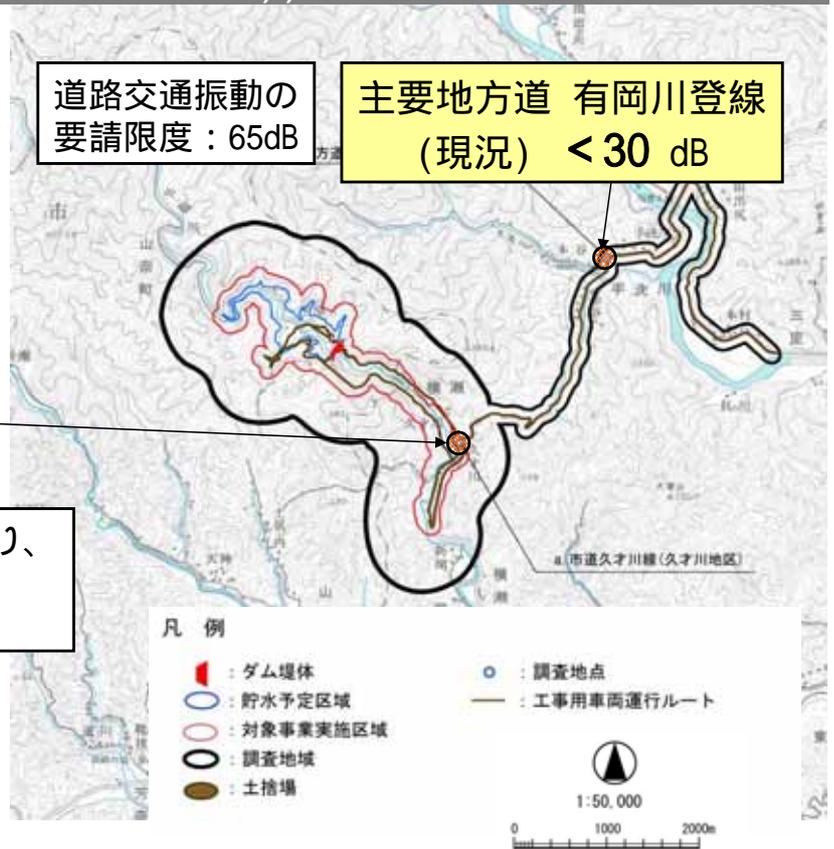
上段: 路線名
下段: 道路交通振動

道路交通振動の
要請限度: 65dB

市道久才川線
(現況) < 30 dB

道路交通振動の
要請限度: 65dB

主要地方道 有岡川登線
(現況) < 30 dB



注) 振動レベル測定器の分解能より、30dB未満の値は全て「< 30dB」と表記することとした。

予測条件(工事用車両の振動)

工事用車両台数: **410台**

・骨材搬入量が最大となる時期における台数(205台)の往復分として算出

手洗川地区:

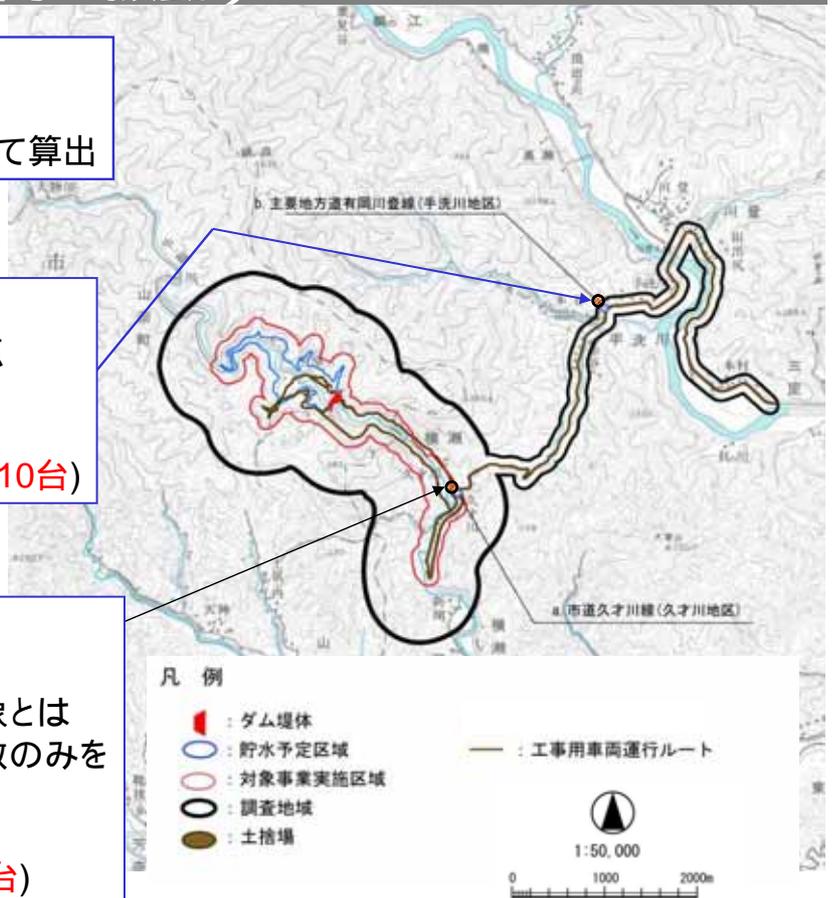
往路・復路とも、車両は予測地点(住宅)の近傍を通過する。

予測対象となる車両台数は、
現況交通量+工事用車両台数(**410台**)

久才川地区:

ダムに向かう際に工事用車両は横瀬川の対岸を走るため、予測対象とはならない。ダムから出てくる車両台数のみを予測対象とする。

予測対象となる車両台数は、
現況交通量+工事用車両台数(**205台**)



予測結果(工事用車両の振動)

道路交通振動の
要請限度: 65dB

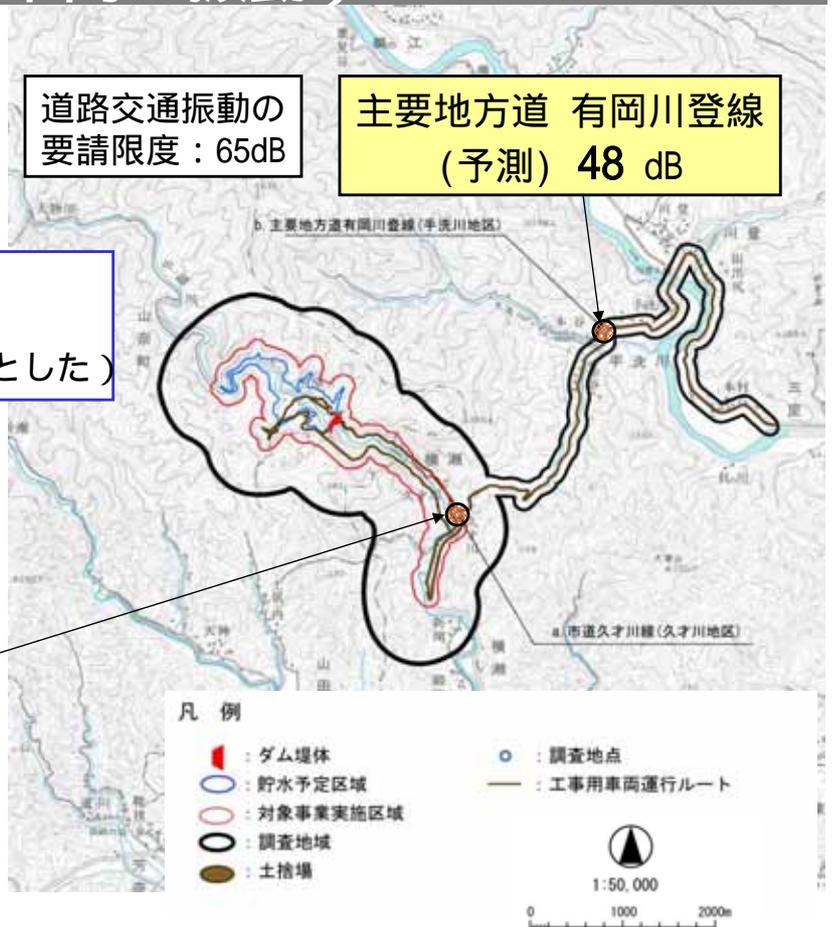
主要地方道 有岡川登線
(予測) **48 dB**

上段: 路線名

下段: 予測された等価振動レベル
(車両走行速度は50km/hとした)

道路交通振動の
要請限度: 65dB

市道久才川線
(予測) **33 dB**



評価結果及び配慮事項

【評価結果】

- ・ 評価に用いる基準との整合は図られている。

【配慮事項】

- ・ 工事用車両の走行速度を規制する。